


# 大阪府

## 1. 商品名等

商品名	カレー日和、堺より	
商品写真(イメージ等)	商品説明(コンセプト等)	
	<p>堺市では北海道産の昆布を使用したおぼろ昆布・とろろ昆布などの加工産業が発達しました。包丁の産地である堺の刃物技術と結びつき、極薄に削る高度な職人技が生まれ、今日まで伝統産業としてうけつがれています。地方創生にかける熱い思いの詰まった新しいカレーを堺からお届けします。味・パッケージ・商品名は高校生のアイデアから生まれました。昆布専門店から仕入れた良質な昆布で丁寧にとっただしの優しい香りに、野菜の旨みが重なった、心も体もあたたまるカレーを是非ご賞味ください。</p>	

## 2. 学校紹介

学校名	堺市立堺高等学校(全日制)	電話	072-240-0840
住所	大阪府堺市堺区向陵東町1-10-1	FAX	072-252-6601
担当者	井本 晃之	安井 裕紀乃	
URL	<a href="https://kyoiku.sakai.ed.jp/sakai-hs/Zen-site/base.html">https://kyoiku.sakai.ed.jp/sakai-hs/Zen-site/base.html</a>		
E-mail	imoto-ak@sakai.ed.jp		

本校は、堺の歴史と伝統を背景とし、時々刻々と変化する社会のニーズや生徒の幅広い学びの要望に応えるべく、平成20年4月に開校した高等学校です。

全日制の課程では「理数に関する専門学科(サイエンス創造科)」「工業技術に関する専門学科(機械材料創造科・建築インテリア創造科)」「ビジネスに関する専門学科(マネジメント創造科)」の3つの異なる学びの系列をもっています。それぞれの学びの特色を活かし、異なる夢、異なる進路希望を抱きながら同じ学び舎で学び、お互いに交流し切磋琢磨することをおして、高い知性・幅広い思考力・豊かな人間性を育むことをめざしています。生徒のみなさんの健やかな学びの保障に向けた教育活動を進め、一人ひとりが可能性を發揮し、未来の創り手となるために、「誰一人取り残さない」教育を充実させ、豊かな学びを実現させるように取り組んでいます。

## 3. 実施科目等

科目名	部活動(商業研究部)	単位数	
対象生徒	3年生2名 2年生4名	担当教員数	2名

## 4. 予算関係(費用)

商品製造：連携企業負担

販売活動：同窓会協力

## 5. 開発経緯等

堺市立堺高等学校商業研究部では、「企業と連携し、社会に必要とされる商品を自らの手で創造したい」という思いから、地域密着型の商品開発プロジェクトに取り組みました。本プロジェクトは、堺市内の郵便局との連携により実現したものであり、堺 SDGs 推進プラットフォームを通じて企業との協働体制を構築しました。

本取組では、SDGs の以下の目標を意識して活動を行いました。

目標 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」目標 11「住み続けられるまちづくりを」目標 12「つくる責任 つかう責任」これらの目標のもと、地域資源を活用した「堺らしさ」を表現する商品として、レトルトカレーの開発に挑戦しました。商品開発にあたり、パートナーである郵便局からは、①堺をイメージした商品であること、②地域を超えて展開可能なネーミングとすること、③高校生の視点を活かしたパッケージデザインとすること、の3点が求められました。これを受け、部員を複数の班に分け、ブレインストーミングやマインドマップを活用してアイデアを創出し、味・具材・デザインの観点から提案を行いました。最終的には各班の優れたアイデアを統合し、試作品の開発に着手しました。試作の過程では PDCA サイクルを重視し、改良を重ねました。初回試作品では味の完成度は高かったものの、「堺らしさ」が十分に表現できていないという課題が明らかになりました。そこで、地域の特色をより強く反映するため、堺の特産である昆布に着目し、市内の専門店から調達した昆布だしを取り入れました。また、堺の文化を象徴する要素として抹茶を隠し味に加え、和の風味を強化しました。その結果、地域性と調和のとれた「和風カレー」として完成度を高めることができました。

完成した商品は「カレー日和、堺より。」と命名しました。この名称には、日常の中でふとカレーの香りに誘われ、手に取りたくくなるような温かみのある情景を込めています。また、「カレー日和、〇〇より。」と展開可能な形とすることで、今後の地域展開も視野に入れています。パッケージデザインにおいても、「堺らしさ」と「親しみやすさ」の両立をめざしました。色彩には緑を基調とした波の表現と夕景を取り入れ、購買シーンを想起させています。さらに、旧堺燈台や古墳などの地域モチーフに加え、学校や郵便局に関連するキャラクターを配置し、視覚的にも地域性を表現しました。文字については手書き風フォントを採用し、高校生らしい温かみを演出しています。

今後も本校商業研究部は、地域の発展に貢献する実践的な学びを継続してまいります。

## 6. 販売形態・期間

有・  
無

定期的な催事で販売。  
堺市内、高石市、泉大津市、忠岡町の郵便局で常設販売。

## 7. 協力者等

有・  
無

堺市公民連携課様  
キャニオンスパイス様  
堺深井沢郵便局様など

## 8. 商標登録の有無

有・  
無

企業様により検討。

## 9. 今後の課題・展望等

今後も堺市と堺地区郵便局様と連携し第2弾、第3弾と継続していきたい。